



地域研究集会

**第 18 回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える
「カタクチイワシの理解と利用～沿岸・内湾域の特性を踏まえて～」**

日時：2023 年 11 月 18 日（土）13:00～17:00（受付 12:30～）

会場：三重県勤労者福祉会館 6 階講堂（三重県津市栄町 1 丁目 891） *ハイブリッド開催

共催：三重県水産研究所，愛知県水産試験場

後援：三重県漁業協同組合連合会，愛知県漁業協同組合連合会

コンピーナー：岡田 誠・岩出将英・高崎有美子・小林智彦（三重水研）・曾根亮太・日比野 学（愛知水試）

申込及び問い合わせ： 申込は三重県水産研究所鈴鹿水産研究室のメールアドレス（ise-bay0@pref.mie.lg.jp：「bay」の後の「0」は数字のゼロ）へ所属と氏名を記載して送信ください。問い合わせも同じメールアドレスへお願いします。

挨拶	高須賀明典（一般社団法人水産海洋学副会長）	13:00～13:05
趣旨説明	岡田 誠（三重水研）	13:05～13:15

【基調講演】

- | | |
|--|-------------|
| I 「カタクチイワシ太平洋系群の資源評価の仕組みと最新の評価結果」 | 13:15～14:00 |
| 木下順二（水産機構資源研） | |
| II 「伊勢湾水質と生態系の変遷～数値実験による観測値の再現と現象の把握～」 | |
| 千葉 賢（四日市大） | 14:00～14:45 |

（休憩）

【事例発表】

- | | | |
|----|--------------------------------|-------------|
| 座長 | 小林智彦（三重水研） | |
| 1 | 愛知県の船びき網漁業者による自主的資源管理について | 14:55～15:25 |
| | 今泉 哲（愛知水試） | |
| 2 | 伊勢湾におけるカタクチイワシの資源生物学的特性と三重県の漁業 | 15:25～16:00 |
| | 岡田 誠（三重水研） | |

（休憩）

【総合討論】

進行	高崎有美子・岡田 誠（三重水研）	16:10～17:00
----	------------------	-------------

開催趣旨：伊勢湾において，船びき網漁業は極めて重要な漁業であり，持続的に資源を利用するための自主的な漁業管理が積極的に実施されてきた．環境変動によりイカナゴ資源が消失し，対象種が減少した漁家経営は非常に厳しくなる中，カタクチイワシの TAC 化が進められていることで漁業者からは不安の声もあげられている．一方，これまでの調査データから，伊勢湾のカタクチイワシ資源は太平洋系群全体とは異なる動向を示すことが明



らかになっており，その原因として重要な伊勢湾の環境については，水質と生物の關係に着目したシミュレーション結果から，特性や変動のメカニズムについての理解が深まりつつある．本研究集会では，状況が大きく変化する中で，カタクチイワシ太平洋系群の資源の現状，伊勢湾における生物学的データ，環境の特徴や変動，資源管理の情報を改めて整理・共有し，關係者による討論を通じて，将来への資源利用のためにそれぞれが理解を深めることを目的としたい．